

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・ソフト事業

コード	名 称	
事業名	2034	公共施設ユニバーサルデザイン調査事業
基本施策	5	障がいのある人の自立した生活を支える

担当部課名	高齢障害課
作成者氏名	榎 光裕
連絡先	22-9657

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
一般市民及び市職員	ユニバーサルデザイン調査事業を実施することにより、ユニバーサルデザインの観点に基づいた軽易な施設改修を行うとともに、ユニバーサルデザインの理念の普及啓発が図れる。				
事業の目的 伊賀市の公共施設(約200)をユニバーサルデザインの観点に基づいた調査を実施する。平成18年度から3か年をかけて実施することとし、事業を特定非営利活動法人ユニバーサルデザイン同夢に委託する。平成18年度についてはモデル調査を6カ所程度行い、チェックリスト作りを行う。					
本年度事業内容 伊賀市の公共施設(約200)をユニバーサルデザインの観点に基づいた調査を実施する。平成18年度から3か年をかけて実施することとし、事業を特定非営利活動法人ユニバーサルデザイン同夢に委託する。平成18年度についてはモデル調査を6カ所程度行い、チェックリスト作りを行う。					
開始年度	平成 18 年度	終了年度	平成 20 年度	根拠法令・要綱等	伊賀市障害者相談支援センター設置運営規程

投入資源

		H18	H19	H20
投入人員	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1
	人件費合計(A)	720	720	720
支出内訳 (千円)	事業費(B)	230	800	800
	委託料	230	800	800
	その他			
	合計(A+B)	950	1,520	1,520
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担 その他特財			
一般財源	950	1,520	1,520	
上記 ~ に関する特記事項				

活動指標

活動指標	単位	目標値	
		平成 20 年度	年度
施設調査数	施設	200	

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H19目標値
施設調査割合	市営施設数を分母とし、調査数を分子とする。	件	80

評価	必要性	4	総合計画においては、新設施設については全てユニバーサルデザインの観点に基づいた施設づくりが求められており、市として取り組む必要がある。
	有効性	3	調査事業を通じて、市民及び職員の認知度を上げる。
	効率性	3	NPOと協働事業のため、効率性には欠ける。

総合評価

A